

津波ハザードマップ

津波ハザードマップの使い方

STEP 1 まず、ご自宅の位置に印をつけましょう。

STEP 2 次に、自分達の避難所に印をつけましょう。

STEP 3 危険箇所を避けて、避難経路を設定しましょう。

STEP 4 実際に経路を歩いてみて、安全が確認しましょう。

自宅の位置と標高を確認し、津波が発生したときに、どのような行動をとるべきか普段から考えておきましょう。

避難所の位置を確認し、自宅からの距離や標高を確かめましょう。津波からの避難は、「早く、高く」が基本です。

川を渡っての避難や土砂災害の危険箇所がある場所を避けて、避難経路を設定しましょう。

家庭や地域で話し合いながら、実際に歩いてみましょう。避難経路に危険な箇所がある場合には、避難経路を見直しましょう。



津波浸水予測区域の見方(浸水深)

| | |
|------------|-------------|
| 0.0 - 0.5m | 5.0 - 6.0m |
| 0.5 - 1.0m | 6.0 - 7.0m |
| 1.0 - 2.0m | 7.0 - 8.0m |
| 2.0 - 3.0m | 8.0 - 9.0m |
| 3.0 - 4.0m | 9.0 - 10.0m |
| 4.0 - 5.0m | 10.0m- |

地図の見方

| | |
|--|--------|
| | 避難所 |
| | 主要な避難路 |
| | 市役所 |
| | 警察 |
| | 消防 |
| | 主要幹線道路 |
| | 鉄道 |

